

# 公益社団法人 北海道臨床工学技士会ニュース



No.97

ホームページ <http://hcea.umin.ac.jp>

事務局へのお問い合わせは上記 HomePage お問い合わせフォームより

発行人：室橋 高男

〒060-0033

札幌市中央区北3条東8丁目

JA北海道厚生連

札幌厚生病院 臨床工学技術部門

TEL 011-261-5331

FAX 011-271-5320

## 年頭所感



公益社団法人  
北海道臨床工学技士会  
会長 室橋 高男

新年明けましておめでとうございます。2011年の新春を迎え、本年が会員皆様にとっても、当会にとっても良い年になることをお祈り申し上げます。また、日頃より当会の活動に対しまして格別のご指導、ご支援を賜っております関係各位の皆さまに深く感謝申し上げます。

さて、予てより「医療の安全を確保することは我々臨床工学技士に課せられた使命のひとつである」と謳わせていただいておりますが、医療全体の中で医療機器の安全管理が求められ、かつ「医療機関等における医療機器の立会いに関する基準」も制定され約3年が経過する中で、多くの臨床工学技士が対応し、それに伴って我々臨床工学技士の責任が益々重みを増してきております。

昨年は、組織として有意義に活動できる環境を整えて行くために、北海道臨床工学技士会の新公益法人化へ向けた公益事業を計画、実施に向けて進めて参りました。その活動の中、当会事業の活動内容および支出の約80パーセントが公益目的事業と認められ、昨年11月1日に全国の臨床工学技士会においては初の公益社団法人に移行することができました。

今年は更なる公益事業を展開し、臨床工学技士のアピールをする中で認知度を高めつつ、

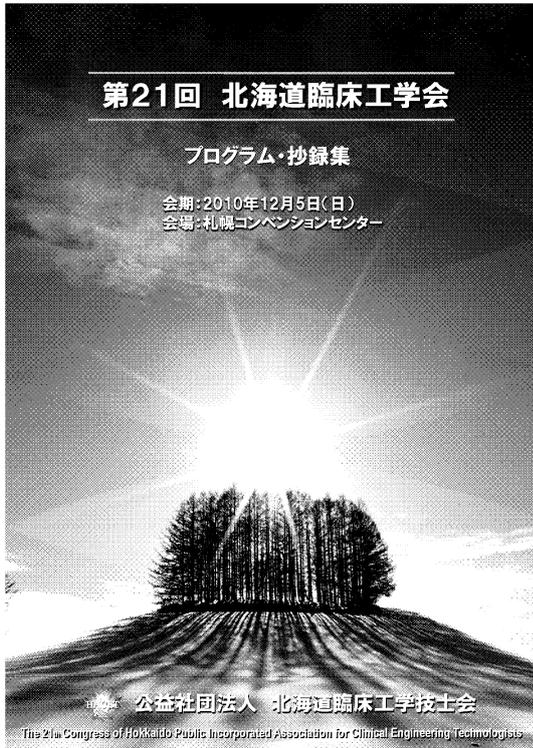
「個々のスキルアップと技術の研鑽」を重点に、教育システムの構築を充実していきたいと思っております。また、道内に点在する臨床工学技士地方会との結束力を高めるために、継続して各地方会行事へ参加し、交流を深め、北海道の臨床工学技士が一枚岩となり、国や自治体へアピールできるよう組織力を高めるべく努力していく所存であります。

臨床工学技士が抱える様々な問題を克服するためには、当会への入会率を向上させ、組織を拡大することが重要であり、未入会の方々へ入会のはたらき掛けを行うと共に魅力ある組織になるよう、当会の研修会・セミナー等をさらに充実させていきたいと思っております。

会長としては、まだまだ力不足ですが、2期目を預かる身として、会員の皆様のご協力を得ながら、自分たちがその第一歩を踏み出すという確固とした信念を持ち、自分の職業に希望と誇りが持てるよう邁進する所存でございます。

今後、臨床工学技士の職能団体として公に訴えていかなければならない課題が山積みではありますが、今後も皆様の一層のご支援、ご協力をお願いし、今年が会員各位にとりまして益々のご健勝の年でありますことをお祈り申し上げます。

# 第21回北海道臨床工学会終了



去る平成 22 年 12 月 5 日(日)、札幌コンベンションセンターにおきまして、第 21 回北海道臨床工学会が開催されました。

当日は約 550 名の参加者の下、一般演題は 60 演題にのびりました。特別講演では、「CKDと人工透析」と題しまして、北海道大学大学院医学研究科内科学講座・第二内科の西尾妙織先生に御講演頂きました。

また、教育講演では「ペースメーカの基礎と心拍応答機能 ～徐脈性透析患者の透析中の血圧低下に対する CLS 機能の有用性～」を国際医療福祉大学三田病院 心臓病センター 栗田康生先生に、ランチョンセミナー1 では「潰瘍性大腸炎の病態と最新治療～血球成分除去療法の位置付け～」をJA北海道厚生連 札幌厚生病院 IBDセンター 第一消化器科 部長の本谷聡先生に、ランチョンセミナー2 では、「電解質と腎臓」をNTT東日本札幌病院 腎臓内科部長の橋本整司先生にそれぞれ貴重な御講演をいただきました。



ランチョンセミナー2の橋本整司先生

司会をして頂いた諸先生も含め、講師の先生方には、この場を借りて篤く御礼申し上げます。また講演とランチョンセミナーに共催頂いた各社及び、機器展示、ドリンクサービス、広告掲載等にてご協力頂いた各社の方々にも心より御礼申し上げます。



会長の挨拶



機器展示会場の様子

# 各委員会 委員長就任挨拶



## 臨床実習・卒後教育委員会 委員長

旭川医科大学附属病院 宗万 孝次

今回、臨床実習・卒後教育委員会の委員長に就任致しました旭川医科大学病院の宗万です。この委員会は臨床実習指導者委員会として2006年より活動してきましたが、本年度より卒後教育ということも含み活動することになりました。

臨床実習指導者委員会は、当時の真下会長にお願いし道内の臨床実習のレベルの統一を図り優秀な人材を養成校に輩出して頂くことを目的に組織して頂きました。昨年度に北海道内の臨床実習指導を対象に統一した指導を実施するためガイドライン Ver.1 を作成いたしました。当時の室橋副会長を中心に活動してきましたが、ガイドラインを作成できたということもあり今年度より委員を一新し卒後教育も含めた活動を目的としています。

現在、安全委員会、学術委員会等で様々なセミナーが開催されていますが、この委員会は、卒後教育の観点から出来るだけ会員のレベルアップのためのセミナーを開催することを企画しております。特に卒後間もない会員の方には積極的に参加して頂けるよう各施設の責任者の方にはご配慮頂きますようお願い致します。また、臨床実習ガイドラインも随時変更及び追加が必要であり会員の皆様にご意見を賜りたくお願い致します。この委員

会のメンバーは若いメンバーがほとんどのため、諸先輩方のご指導が必要です。皆様方のご指導のほどよろしくお願い致します。

# 北海道呼吸療法セミナー終了



特別講演の様子

去る平成22年12月19日(日)、北大学術交流会館におきまして、第1回北海道呼吸療法セミナーが開催されました。

今回は「血液ガス分析の見方、考え方」「人工呼吸のケアに必要な知識」「気管切開チューブの安全な管理について」「最新人工呼吸事情」と日々の業務ですぐに役に立つ有意義なセミナーとなるよう企画しました。

また、北海道臨床工学技士会主催のセミナーにおいて、呼吸療法士の単位取得の認定を受けるには、呼吸療法についてのセミナーを過去2回以上開催した実績が必要です。前回の安全セミナーと今回のセミナー開催により、2回の開催実績となりますので、今後の呼吸療法セミナーでは単位取得申請を行い、更新単位取得が可能となるように計画を進めております。

### <参加人数>

臨床工学技士	56人
看護師	94人
学生・その他	7人
スタッフ	25人
<b>参加総数</b>	<b>182人</b>

# 医療事故情報収集等事業医療安全情報

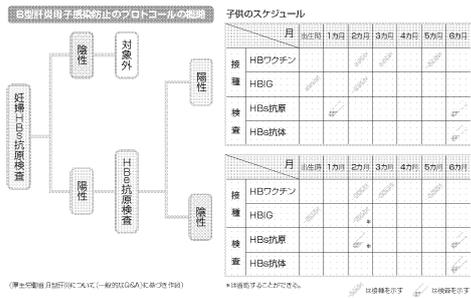
(詳細は日本医療機能評価機構のホームページをご覧ください)



## B型肝炎母子感染防止対策の実施忘れ

B型肝炎ウイルスキャリアの母親から生まれた児に対し、出生直後の抗HBs抗体免疫グロブリン(HBIG)投与のみが行われ、B型肝炎ワクチン(HBワクチン)投与が行われなかった事例が6件報告されています(集計期間:2007年1月1日～2010年10月31日、第20回報告書「個別のテーマ」に一部掲載)。

B型肝炎ウイルスキャリアの母親から生まれた児に対して、プロトコールに従った母子感染防止対策の実施がされなかった事例が報告されています。



## [B型肝炎母子感染防止対策の実施忘れ]

### 事例

産科医は、B型肝炎ウイルスキャリアの母親から出生した児に、出生の翌日、小児科医にHBIG投与を依頼した。産科医は、一般の1ヶ月検診と、HBワクチン接種を担当する小児科の消化器専門外来を予約するところ、一般の1ヶ月検診のみ予約した。そのため、児は一般の1ヶ月検診のみを受けた。1年後、児の母親が他院の小児科を受診してB型肝炎母子感染防止対策について疑問をもち、当院小児科外来に問い合わせた。確認すると、プロトコールに則ったHBワクチン接種対応がされていないことがわかった。

B型肝炎母子感染防止対策について、厚生労働省より通知が出されています。

産科医第0427001号 平成16年4月27日  
厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課 事務連絡 平成21年12月4日  
厚生労働省 B型肝炎について(一般的なQ&A)平成20年4月改訂 改訂第3版  
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou09/documents/faq\_HepatitisB.pdf

### 事例が発生した医療機関の取り組み

- ・出生した児の情報について、分娩を担当した産科医のみならず、児に関わる小児科医等と共有し、連携を図る。
- ・B型肝炎母子感染防止対策についての文書を作成し、出生前に母親に十分説明をする。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をとり、当事業の一環として総合評価部会の専門家等の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。当事業の進捗等については、当該ホームページに掲載されている報告書および年報をご覧ください。

http://www.mel-safe.jp/

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたって保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の教養を初階し、医療従事者に義務や責任を課したものではありません。

JQC 財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部  
〒101-0061 東京都千代田区三崎町1-4-17 東海ビル  
電話: 03-5217-0252(直通) FAX: 03-5217-0253(直通)  
http://www.jqc.or.jp/html/index.htm

# 医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活用について

(詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください)

## ～医療機器不具合等報告の集計結果についての注意事項～

- 1) 医療機器不具合・感染症報告については、医療機器との因果関係が不明なものを含め製造販売業者等及び医療関係者から報告されたものであり、医療機器との関連性が必ずしも明確になったものばかりではない。
- 2) 医療機器の不具合等報告に関する分類については、「医療用具の一般的名称と分類(平成7年11月業務局長通知)」等を参考とし、以下の8分類とした。なお、各分類中の順列は、国内・外国毎に一般的名称の五十音順とした。
  - 参考 医療機器不具合等報告分類
    - (1) 画像診断用機器(例 X線CT装置、X線防護用具など)
    - (2) 生体監視・臨床検査機器等(例 心電計、分娩監視装置、臨床化学自動分析装置など)
    - (3) 処置用・施設用機器等(例 注射器、カテーテル、医療用吸引器など)
    - (4) 生体機能補助・代行機器(例 心臓ペースメーカー、人工呼吸器など)
    - (5) 治療・鋼製機器等(例 放射線治療用装置、レーザー治療器、整形外科手術用機器など)
    - (6) 歯科用機器・材料(例 歯科治療機器、歯科技工用機器、充填用材料など)
    - (7) 眼科用機器(例 眼鏡、コンタクトレンズなど)
    - (8) 衛生材料・家庭用機器等(例 避妊用具、家庭用電気治療器など)
- 3) 不具合等報告の件数については、提出された報告書の件数を示したものであり、同一の症例に複数の医療機器が関与している場合、当該症例が複数の企業からそれぞれ報告されることもある。このような場合、同一症例を重複してカウントするようになることから、ここに示された報告件数がそのまま症例数にはならない場合がある。
- 4) 「その他」欄の記載については、原則、平成22年9月30日時点における措置の内容を簡潔に示したものである。
  - 主な記載事項及び内容は次のとおり。
  - ・「回収(改修)」: 当該報告又は類似の報告を契機として回収(改修)が行われたもの
  - ・「情報提供」: 添付文書の改訂又は情報提供が行われたもの(当該報告が添付文書改訂の契機となった場合のほか、既に添付文書等で関連する情報提供が行われている場合を含む。)
  - ・「調査中」: 現在、調査継続中のもの
  - ・「空欄」: 当該報告では不具合状況等の情報が不足している等、調査が困難なもの

## 医療機器不具合等報告について

(平成22年4月1日から平成22年9月30日までの報告受付分)

1. 不具合報告件数	: 4,748件			
	分類	総報告件数	国内報告	外国報告
	① 画像診断用機器 (Excel:23KB)	8件	6件	2件
	② 生体監視・臨床検査機器等 (Excel:29KB)	57件	42件	15件
	③ 処置用・施設用機器等 (Excel:153KB)	1,596件	990件	606件
	④ 生体機能補助・代行機器 (Excel:268KB)	2,920件	1,454件	1,466件
	⑤ 治療・鋼製機器等 (Excel:40KB)	1,055件	72件	33件
	⑥ 歯科用機器・材料 (Excel:25KB)	23件	4件	19件
	⑦ 眼科用機器 (Excel:24KB)	29件	21件	8件
	⑧ 衛生材料・家庭用機器等 (Excel:23KB)	10件	4件	6件
		4,748件	2,593件	2,155件
2. 感染症報告件数	: 0件			

# 北海道医療新聞に掲載されました

## ◆RM ニュース◆

### 道内2団体が 公益法人化

#### 職種アピール促進



**PT マラソン医療班**

道内PTマラソン会 会長 太田誠会長



**AED管理指導**

道臨工 会長 室橋高男会長

道臨工は「臨床工学技士の社会的認知が他の医療職より低い」と感じており、公益事業を通じた職種アピールを目指す。

事業の大半を占める各種研修会を、会員以外のも他職種にも広く開放してきたことで高い公益性を確保。加えてAED(自動体外式除細動器)の管理や使用方法を、設置施設のスタッフに指導する啓発活動も新たに企画、二十三年一月から実施していく考えだ。

認定に当たり、道担当者との折衝、法務局担当者との打ち合わせは室橋会長自らが、道知事の認定後、わずか四日間で登記を終了した。

札幌厚生病院臨床工学技術科で管理職として勤務している中、「病院とスタッフの理解と協力がなければ準備作業が進まなかった」と振り返る。

(2010年12月3日 提供:北海道医療新聞)

### <富山の病院で工事業者がミス、 酸素供給6分止まる>

富山県の病院は、10月23日に行った医療用ガス設備の工事中、誤って入院患者への酸素供給を6分間止める事故があったことを9日に発表した。

会見によると、新病棟建設に伴い既存病棟のガス設備を仮設ボンベに切り替える際、工事業者が空気弁を閉じなければならぬところ、誤って一つの病棟の酸素弁を閉じてしまった。約2分後に警報が鳴ったため医師や看護師が気づき、業者が閉鎖から約6分後に再び酸素弁を開いた。

酸素吸入を受けていた入院患者10人のうち、2人の血中酸素濃度が一時、通常の6割程度まで低下したが、自発呼吸ができる症状のため、低酸素状態に伴う容体の変化や後遺症はないという。

(2010年11月10日 提供:毎日新聞)

### <糖尿病治療で事故、 透析中の70代患者死亡>

愛媛県の病院は、透析治療中の事故で70代男性患者が死亡したことを9日に発表した。

同病院によると、男性は糖尿病による慢性腎不全を患い通院。首にカテーテルを挿入し、装置で血液を浄化して体内に戻す治療を午前9時から午後1時までの予定で行っていた。10時半頃、異常を知らせる機器のブザーが鳴った。看護師が気付いた時にはチューブのつなぎ目が外れ、血液が漏れてしまった可能性があり、処置をしたが間に合わなかった。

(2010年12月10日 提供:共同通信社)



# 頑張れ！フレッシュャース

このコーナーは、平成 21 年度の卒業生で北海道臨床工学技士会より表彰を受けた道内臨床工学技士養成校の卒業生に、現在の状況や今後の抱負など熱い思いを語ってもらうコーナーです。

今回は、昨年 3 月に北海道ハイテクノロジー専門学校を卒業し、現在医療法人サンプラザ 新札幌循環器病院にて勤務中の石附弘樹さんです。



## 医療法人サンプラザ新札幌循環器病院

石附 弘樹

(北海道ハイテクノロジー専門学校 卒業)

私は昨年の臨床工学技士の国家試験に合格し、昨年 4 月から医療法人サンプラザ新札幌循環器病院 臨床工学科に勤務し、血液浄化業務と心臓カテーテル業務に関り、毎日院内を走りまわっています。

血液浄化業務では、透析装置操作やメンテナンスだけではなく、穿刺から返血も行っています。患者さまと会話をする機会が多いので、コミュニケーションの重要性を改めて感じました。普段の体調の変化などを感じ取ることによって、少しでもよりよい透析を受けていただけるよう努力しております。

日々のコミュニケーション不足を痛感していますが、患者様に対してもっと命の大切さを理解、意識しながら業務を全うしていきたいと思っています。

心臓カテーテル業務では、診断カテ、PCI と常に緊張しながら携わっています。モニターの監視だけでなく他のスタッフ等の周りの状況判断など、気を配りながらの業務をしておりますが、何度も失敗と注意を受ける日々に悔しさと力の無さを噛みしめています。

多種の業務に携わることで、医学的な知識の不十分さを痛感し、もっと勉強を重ねていかなければならないと感じています。先輩方に聞かれる前に、自分が分からないことがあった時に質問をしていかないと、「積極的な姿勢が足りない」と先輩、上司に注意されてしまうことがあります。これからの課題として、“1 年目らしく積極的にがむしやりにいく姿勢”を出していきたいと思います。

最後に、入職して約 9 カ月が経ちますが学生時代には気づくことができなかった部分が見えてきました。“今自分に足りないものは何か？、これから力を付けなければならないものは何か？”など、少しずつ見えてきているものもあるので、1 日でも早く周りの先輩、上司に 1 人で任せられるよう毎日の業務、知識的なものをどんどん吸収、理解をしていき、毎日笑顔で楽しく患者さまと接していける臨床工学技士になれるよう頑張っていきたいと思っています。

# 理事会からのお知らせ

平成22年度11月～平成23年1月までの理事会において以下の報告・協議がされました。

- 第21回北海道臨床工学会 準備・開催
- 第1回北海道呼吸療法セミナー 準備・開催
- 各種認定単位取得対応
- 旧法人決算総会の議案書作成・準備・開催
- 日本臨床工学技士会 透析液安全管理者セミナー (札幌開催) 参加手続きの補助
- 北海道人工呼吸セミナーの協賛について

日本臨床工学技士会 第1期代議員選出選挙立候補者(北海道)

地方区(3名枠)

加藤 伸彦、室橋 高男、脇田 邦彦  
(アイウエオ順)

全国区(87名枠)

荒道 昭男、大澤 貞利、真下 泰  
(アイウエオ順)

全国区に立候補した3名の方々は選挙により選抜されます。

是非、代議員に当選してもらい北海道の意見を中央に反映してもらいましょう！皆様のご協力よろしくお願いたします。

# 1月からの予定表

下記に示すセミナー、学会等が開催されます。皆様多数の参加をお願いいたします。詳細は公益社団法人 北海道臨床工学技士会ホームページまたは各記載のwebサイトをご覧ください。

\*\*\*\*\*

2011年1月22日(土)

「旭川バイタルサインセミナー」

会場 旭川市大雪クリスタルホール  
旭川市神楽3条7丁目  
(要申込)

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

2011年2月19日(土)～20日(日)

「第22回 人工呼吸セミナー」

会場 札幌医科大学講堂  
札幌市中央区南1条西16丁目  
(札幌医大臨床研究棟一階)

<http://www.kokyu-kanri.com/> (申込終了)

\*\*\*\*\*

2011年2月24日(木)～26日(土)

「第38回日本集中治療医学会学術集会」

会場 パシフィコ横浜  
横浜市西区みなとみらい1-1-1

<http://www.congre.co.jp/jsicm2011/>

\*\*\*\*\*

2011年2月26日(土)～27日(日)

「第3回透析液安全管理責任者セミナー」

会場 北海道大学 学術交流会館(講堂)  
札幌市北区北8条西5丁目

<http://www.jacet.or.jp/> (申込終了)

\*\*\*\*\*

2011年5月21日(土)～5月22日(日)

「第21回 日本臨床工学会」

会場 別府国際コンベンションセンター  
ビーコンプラザ

<http://www.jacet21.jp/>

\*\*\*\*\*



No.96号に掲載しました記事「12月からの予定表」におきまして、「第22回 北海道人工呼吸セミナー」の開催日に誤りがありました。正しくは「2011年2月19日(土)～20日(日)」で、該当箇所を訂正させていただきます。ご迷惑をおかけしました北海道呼吸管理研究会の皆様ならびに会員の皆様には、深くお詫び申し上げます。



経験と実績から生まれたME機器管理システム

**HOSMA<sup>®</sup>** Hospital Management System

詳しくはネットで ▶▶▶ [www.hosma.net](http://www.hosma.net)



株式会社ムトウテクノス 札幌市中央区北2条西17丁目1-2 TEL: 011-644-6400

手術台販売台数 No.1

**MIZUHO**

瑞穂医科工業株式会社

北海道センター 〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目6番地(37 山京ビル2F)

TEL 011-716-4731

豊富なバリエーションで、患者さん一人ひとりのニーズにお応えしてまいります。

≫ 旭中空糸型ヘモダイアフィルター ポリスルホンヘモダイアフィルター

**ABH-F Series**



旭化成医療機器  
旭中空糸型ヘモダイアフィルター  
承認番号 2200002200060000

旭化成ワレメディカル株式会社  
<http://www.asahikasei-kuraray-medical.co.jp>

スピードと安全が要求される医療現場に貢献します。

≫ 血液浄化装置

**ACH-Σ<sup>®</sup>** シグマ

Speedy Safety Smart



多用途血液処理用装置  
血液浄化装置 ACH-Σ  
承認番号 21000022000700000



経口そう痒症改善剤 劇薬、処方せん医薬品<sup>※</sup>

薬価基準収載

**レミッチ<sup>®</sup>** カプセル2.5μg

REMITCH<sup>®</sup> 一般名：ナルフラフィン塩酸塩

注) 注意-医師等の処方せんにより使用すること

本剤の「効能又は効果」、「用法及び用量」、「用法及び用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については、添付文書をご参照ください。

TORAY 旭化成株式会社  
東京都中央区日本橋区二丁目1番1号

鳥居薬品株式会社  
東京都中央区日本橋本町3-4-1  
<http://www.remitch.jp>

日本たばこ産業株式会社  
東京都港区虎ノ門二丁目2番1号

2010年6月作成

持続型赤血球造血刺激因子製剤  
生物由来製品、薬業、指定医薬品、  
処方せん医薬品・注意・医師等の処方せんにより使用すること

# ネスプ<sup>®</sup> 静注用プラシリンジ

10・15・20・30・40 $\mu$ g/1mL 60・120 $\mu$ g/0.6mL

【薬価基準収載】 一般名：ダルベポエチン アルファ（遺伝子組換え）  
効能又は効果、用法及び用量、禁忌、使用上の  
注意の詳細は最新の添付文書をご参照ください。



製造販売元 【資料請求先】  
**協和発酵キリン株式会社**  
東京都千代田区大手町一丁目6番1号 〒100-8185  
www.kksmile.com 2009年3月作成  
第1版第1刷

**'TORAY'**  
Innovation by Chemistry

*Back Filtration*

透析用監視装置 **TR-3000MA**

逆ろ過透析液によるサポート機能  
プライミング・返血・脱血・急速補液・手動送液の  
各サポート機能を標準搭載しました。  
自動化による業務効率化を推進し、プライミング  
返血時等のコスト低減に寄与します。

医療機器承認番号：2220087X0014000

製造販売元 **東レ・メディカル株式会社**  
<http://www.toray-medical.com/>

医療と福祉の融合を目指す  
アクティブグループ

**AG**

URL: <http://www.actg.co.jp>

## 専門スタッフが豊富な知識・技術・経験を駆使して 医療現場をフルサポート致します。

医療機器・医療材料の総合商社  
**株式会社アクティブメディカル**  
東京都文京区西片1丁目15番15号春日ビジネスセンタービル  
支店：横浜・千葉・札幌・旭川・帯広・室蘭・釧路

医療機器承認番号 21900BZX00777000

**ECOタイプV型**  
ポリネフロン<sup>®</sup>  
**PES-SEQ eco** シリーズ

**NIPRO** 製造販売 **ニプロ株式会社**  
大阪市北区本庄西3丁目9番3号

中空糸型透析器 高度管理医療機器 ホローファイバー型ダイアライザー機能別分類V型

安全機構付き  
止血弁内蔵透析用留置針

# ハッピーキャス **ONE**

**メディキット株式会社**

発 売 元：メディキット株式会社 〒113-0034 東京都文京区湯島1-13-2 TEL.03-3839-0201  
製造販売元：東映メテック株式会社 〒883-0062 沖縄県白川市大字日知屋字南川17148-6 TEL.0982-63-6000  
<http://www.medikit.co.jp>  
<http://www.togonmedical.co.jp/>

医療機器承認番号：21400BZX00343000

